

# WRO Japan 2012 熊本大会

## - 小学生および中学生部門競技コース作製と大会支援について -

○倉田 大、中村秀二、白川武敏、清水久雄、平田正昭、廣田将輝  
技術部

### 1 はじめに

WRO Japan熊本大会実行委員会主催のWRO Japan2012熊本大会が平成24年8月5日（日）に行なわれた。この大会は、小中学生がロボットキット（レゴマインドストームNXT、RCXの2種類）を使って自作した自律型ロボットによる競技で地区予選から国際大会まであるロボットコンテストである。NPO法人HITOプロジェクトの依頼を受けた小学生および中学生の競技コース作製と熊本大会の業務支援について報告する。

### 2 コース作製について

競技コースは、競技ルールに詳細に決められており、その仕様に合わせて各2組作製した。小学生および中学生各コースとも運搬のため3分割とした。材料はスタイロフォーム、化粧合板、化粧棚板、木材、カッティングシート、空き缶、ビニルテープなどを使用し、固定と接着には、木ネジ、両面テープを用いた。

まずは、スタイロフォーム、化粧合板、化粧棚板、木材の材料の切り出しをパネルソーで行った。次に、木材については白ペイントで色塗りを施した。組み立ては両面テープや木ネジで固定して、各々を固定した。最終的な仕上げは依頼者側に任せた。以下に作製した競技コースの外観を示す。



小学生部門コース



中学生部門コース

### 3 熊本大会について

熊本大会は、平成24年8月5日（日）に熊本大学工学部の2号館の1階ロビーで行われた。WRO Japan熊本大会実行委員会の主催および共催の関係者が見守る中、小学生部門が5チーム、中学生部門が3チーム参加し、競技に臨んだ。小学生部門では最高得点を取るチームも居り、白熱した競技となった。以下に熊本大会の様子を示す。



熊本大会の様子



閉会式

### 4 おわりに

WRO Japan2012熊本大会では、小・中学生部門の各チームがアイデアを出し合い、各自でプログラムを開発し、競技タイムやロボットデザインを競い合うことで創造性と問題解決力育成に繋がっている。また、ロボット工学技術を体験することによって科学技術への関心・意欲の向上に繋がり、ものづくりの人材育成にも寄与することができる。熊本大学工学部では、WRO Japan2012熊本大会に共催しているのので、これからも地域の社会貢献となるこれらの事業に積極的に支援して行きたい。